学校評価（中間報告）

評価計画							自己評価	
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値	
							10月	2月
つづける・つながる・つくす	1	自ら進んで粘り強く最後までチャレンジし続ける児童 【主体性】 人を大切に認め合い協力して高めあう児童 【協働性】 自分で考えて自分ができることを責任もって果たす児童 【貢献力】 の育成	無言清掃の指導を徹底することで，他者のために働く意欲や責任感が高まった児童の育成を図る。 心	○「さしすせ一番」をキーワードとして、時間いっぱい無言掃除に取り組む。 ○振り返りカードをもとにした日々の自己評価や担当教員による肯定的声かけを通して無言掃除に対する意欲を高める。	○掃除の開始と終了，時刻を守って無言掃除ができたと肯定的に答える児童の割合 （アンケート）	85%	87%	
			基礎学力の定着・授業の充実を図ることで，課題に対して自分の考えを持ち協働的に粘り強く解決しようとする児童の育成を図る。 学力	○対話的活動を効果的に取り入れた「誰もが活躍できる授業」を実施する。	○国語，算数の「たしかめよう」のテストで，80点以上の児童の割合（テスト）	80%	81%	
				○トーキングシートを活用した「もくもくタイム」を計画的に実施する。	○自分の考えを進んで伝えようとする児童の割合 （アンケート）	80%	80%	
			基礎体力の向上を図ることで，運動の楽しさを実感し自ら進んで体を動かそうとする児童の育成を図る。 体	○三ツ城タイムや縄跳び週間などで，縄跳び検定に進んでチャレンジさせる。	○各学年目標級または目標ポイントを達成した児童の割合（カード）	80% 中間目標値 15%	16%	
				○元気もりもりカードで自分の運動習慣を振り返らせたり，教室空っぽデーを設定して外遊びの機会を増やしたりする。	○1日20分以上，週2回以上の外遊びをしている児童の割合（カード）	90%	76%	
調和	2	自己肯定感を高め，主体性・協働性・貢献力の調和のとれた児童 の育成	行事を通して学んだことを意欲的に発信する児童の育成を図る。	○行事を通して他学年や地域に学んだことを発信することにより達成感や満足感を実感させる。	○行事を通して学んだことを発信することの良さを感じた児童の割合 （アンケート）	80%	92%	
			「人のために役に立つ」という意識をもち続けることで，感謝の気持ちを大切にする児童の育成を図る。 和	○自分の役割を振返る「つくしちゃんカード」に取り組み，自分で立てためあての達成状況と課題，今後の取り組み方について見直すとともに，他者と交流する。	○児童アンケート「人のために役に立つことができた」の項目について肯定的に答える児童の割合 （アンケート）	90%	93%	
働き方改革	3	働き方に対する教職員の意識改革推進	子供と向き合う時間の確保と働き方についての意識高揚を図る。	○業務評価書に業務改善についての目標（時間目標の設定とその方法）を設定する。	○業務改善を進めることができた（達成度3↑）と答えた職員の割合 （業績評価書）	85%	65%	